

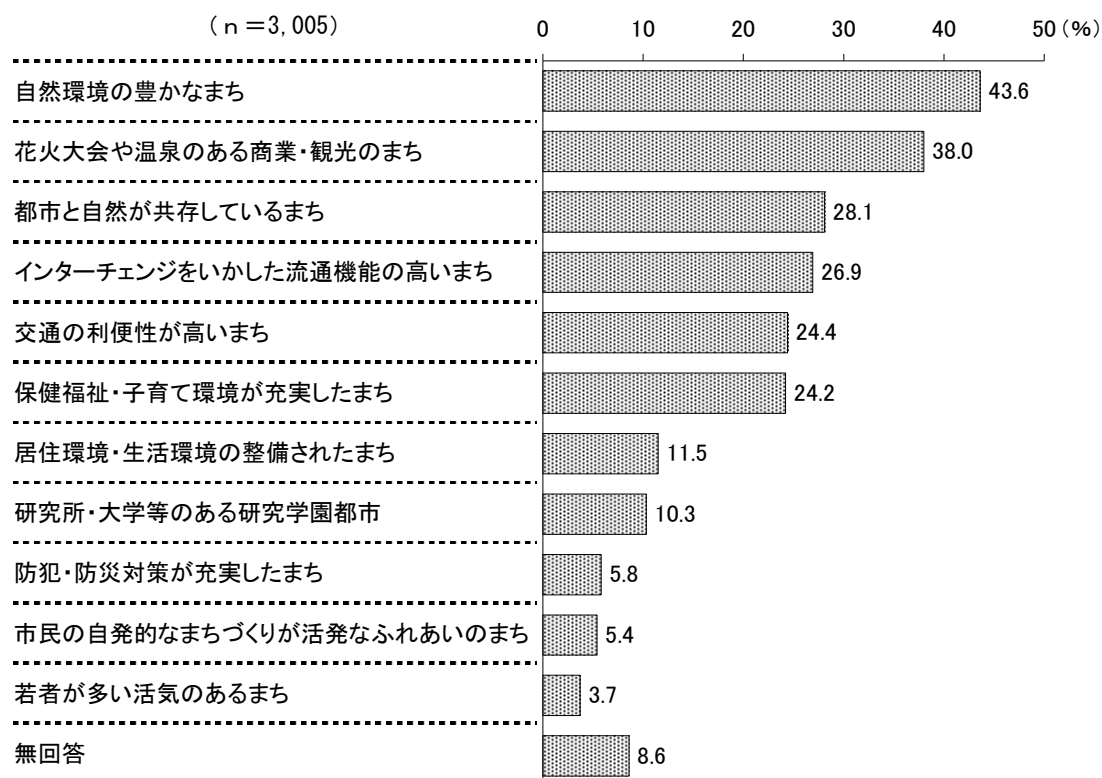
2 市の現状と将来

(1) 市の現在のイメージ（A・B：問4①）

問. 厚木市のまちとして現在のイメージはどれですか。

(該当するものを3つまで選んでください)

図2-1-1 市の現在のイメージ



【全体】

市の現在のイメージについて聞いたところ、「自然環境の豊かなまち」(43.6%) が4割半ば近くで最も高く、次いで「花火大会や温泉のある商業・観光のまち」(38.0%)、「都市と自然が共存しているまち」(28.1%)、「インターチェンジをいかした流通機能の高いまち」(26.9%)、「交通の利便性が高いまち」(24.4%) となっている。

【経年変化】

経年による変化を見ると、上位3項目は平成29年度調査と同じ順位となっている。「インターチェンジをいかした流通機能の高いまち」(26.9%)は平成29年度調査(23.0%)より3.9ポイント増加している。

表2-1-1 市の現在のイメージ経年変化(上位5項目)

(%)

順位	令和元年度 (n=3,005)	平成29年度 (n=3,030)	平成27年度 (n=2,916)	平成25年度 (n=2,554)	平成23年度 (n=1,629)	平成21年度 (n=3,218)	平成19年度 (n=3,006)	平成17年度 (n=2,010)
1	自然環境の 豊かなまち 43.6	自然環境の 豊かなまち 44.0	自然環境の 豊かなまち 50.9	自然環境の 豊かなまち 48.7	自然環境の 豊かなまち 42.4	花火大会、 鮎、温泉(飯 山、七沢)の まち 45.7	花火大会、 鮎、温泉(飯 山、七沢)の まち 46.5	花火大会、 鮎、温泉(飯 山、七沢)の まち 49.0
2	花火大会や 温泉のある 商業・観光 のまち 38.0	花火大会や 温泉のある 商業・観光 のまち 37.9	花火大会や 温泉のある 商業・レジャー のまち 28.5	花火大会や 温泉のある 商業・レジャー のまち 30.1	花火大会や 温泉のある 商業・レジャー のまち 41.0	恵まれた 自然環境を もつまち 41.1	恵まれた 自然環境を もつまち 42.9	恵まれた 自然環境を もつまち 43.4
3	都市と自然 が共存して いるまち 28.1	都市と自然 が共存して いるまち 26.8	都市と自然 が共存して いるまち 28.2	都市と自然 が共存して いるまち 24.7	都市と自然 が共存する まち 24.7	都市と自然 が共存する まち 22.6	都市と自然 が共存する まち 23.3	都市と自然 が共存する まち 25.7
4	インターチェンジ をいかした 流通機能の 高いまち 26.9	交通の利便 性の高いま ち 24.0	交通の利便 性の高いま ち 24.7	交通の利便 性の高いま ち 23.6	交通の利便 性の高いま ち 19.3	交通の利便 性の高いま ち 16.4	交通の利便 性の高いま ち 17.6	交通の利便 性の高いま ち 20.6
5	交通の利便 性が高いま ち 24.4	インターチェンジ をいかした 流通機能の 高いまち 23.0	保健福祉・ 子育て環境 が充実した まち 20.3	インターチェンジ をいかした 流通機能の 高いまち 18.4	インターチェンジ をいかした 流通機能の 高いまち 17.0	ハイテク・研 究開発型企 業の集まる まち 6.7	ハイテク・研 究開発型企 業の集まる まち 6.2	自治活動の 活発なふれ あいのまち 5.8

(注1)「花火大会や温泉のある商業・観光のまち」は、平成27年度調査～平成23年度調査では「花火大会や温泉のある商業・レジャーのまち」としていた。

(注2)「市民の自発的なまちづくりが活発なふれあいのまち」は、平成27年度調査～平成23年度調査では「自治活動の活発なふれあいのまち」としていた。

【属性別】

性別で見ると、男性では「インターチェンジをいかした流通機能の高いまち」（33.7％）が女性（21.6％）より12.1ポイント、「交通の利便性が高いまち」（29.4％）が女性（20.4％）より9.0ポイント、「都市と自然が共存しているまち」（31.2％）が女性（25.8％）より5.4ポイント高くなっている。一方、女性では「保健福祉・子育て環境が充実したまち」（29.3％）が男性（17.7％）より11.6ポイント、「花火大会や温泉のある商業・観光のまち」（40.8％）が男性（34.5％）より6.3ポイント高くなっている。

年齢別で見ると、「花火大会や温泉のある商業・観光のまち」は20歳未満（47.4％）と20～29歳（46.3％）が4割半ばを超えて高くなっている。「インターチェンジをいかした流通機能の高いまち」は50～59歳（35.7％）が3割半ばと高くなっている。「保健福祉・子育て環境が充実したまち」は30～39歳（37.8％）が4割近くと高くなっている。

表2－1－2 市の現在のイメージ性別、年齢別

(%)

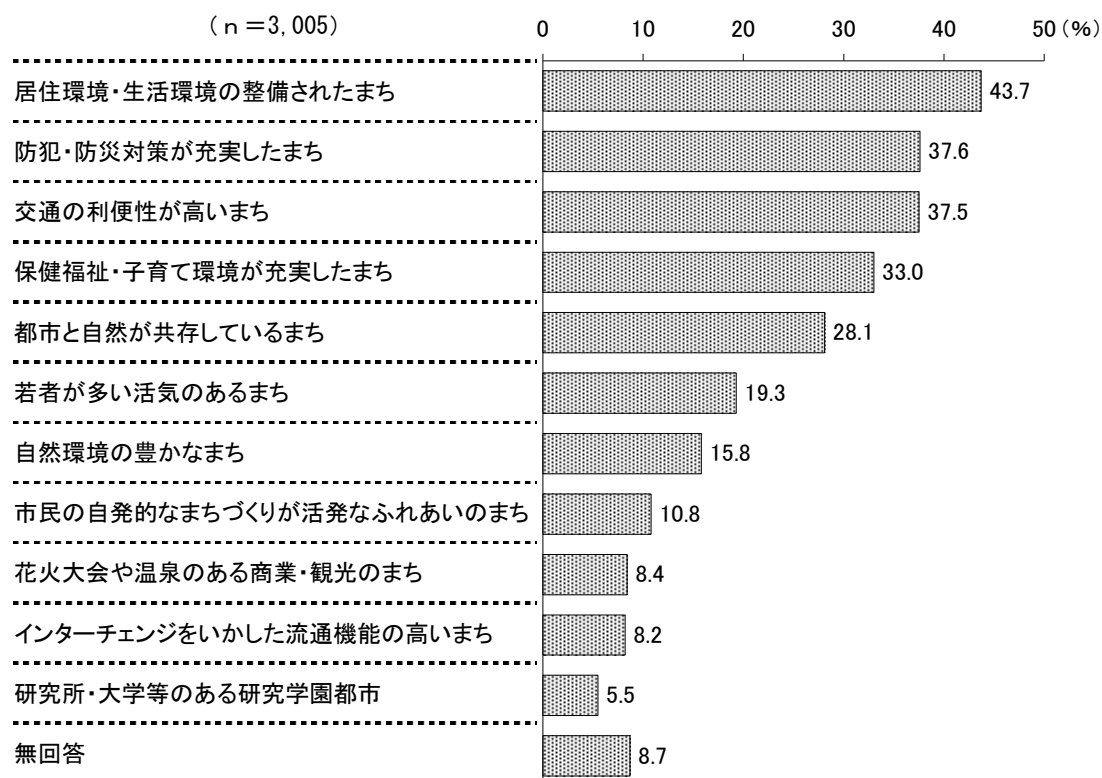
		n	自然環境の豊かなまち	花火大会や温泉のある商業・観光のまち	都市と自然が共存しているまち	インターチェンジをいかした流通機能の高いまち	交通の利便性が高いまち	保健福祉・子育て環境が充実したまち	居住環境・生活環境の整備されたまち	研究都市・大学等のある研究学園都市	防犯・防災対策が充実したまち	市民の自発的なまちづくりが活発なふれあいのまち	若者が多い活気のあるまち	無回答
	全 体	3,005	43.6	38.0	28.1	26.9	24.4	24.2	11.5	10.3	5.8	5.4	3.7	8.6
性別	男 性	1,303	42.3	34.5	31.2	33.7	29.4	17.7	13.4	10.4	7.3	4.3	3.8	7.8
	女 性	1,659	44.8	40.8	25.8	21.6	20.4	29.3	10.0	10.4	4.6	6.3	3.6	8.9
年齢別	20 歳 未 満	38	34.2	47.4	31.6	15.8	23.7	28.9	15.8	15.8	5.3	5.3	13.2	2.6
	20 ～ 29 歳	227	37.9	46.3	28.2	24.2	23.3	27.8	10.6	9.3	3.1	6.2	8.8	5.3
	30 ～ 39 歳	357	40.1	41.5	25.8	23.5	24.9	37.8	11.2	11.8	2.2	4.5	3.9	6.4
	40 ～ 49 歳	521	41.8	43.0	28.4	29.9	23.8	31.1	11.3	10.2	3.5	4.4	2.1	5.8
	50 ～ 59 歳	440	43.2	43.6	29.1	35.7	25.0	20.9	8.4	12.5	4.3	4.1	3.6	6.4
	60 ～ 69 歳	626	46.5	35.1	31.0	28.3	25.4	19.6	10.7	9.6	6.5	5.4	2.9	9.1
	70 ～ 79 歳	568	47.5	32.0	25.5	23.1	23.8	16.4	12.3	10.0	10.2	7.0	2.6	12.0
	80 歳 以 上	213	43.7	22.1	27.2	17.4	23.0	20.7	18.8	7.5	9.9	6.6	5.2	16.9

（２）市の将来のイメージ（Ａ・Ｂ：問４②）

問．厚木市が将来どのようなまちになってほしいと思いますか。

（該当するものを３つまで選んでください）

図２－２－１ 市の将来のイメージ



【全体】

市の将来のイメージについて聞いたところ、「居住環境・生活環境の整備されたまち」（43.7％）が４割半ば近くで最も高く、次いで「防犯・防災対策が充実したまち」（37.6％）、「交通の利便性が高いまち」（37.5％）、「保健福祉・子育て環境が充実したまち」（33.0％）、「都市と自然が共存しているまち」（28.1％）となっている。

【経年変化】

経年による変化を見ると、「居住環境・生活環境の整備されたまち」は平成29年度に引き続き第1位となっている。「防犯・防災対策が充実したまち」(37.6%)は平成29年度調査(34.8%)より2.8ポイント増加している。

表2-2-1 市の将来のイメージ経年変化(上位5項目)

(%)

順位	令和元年度 (n=3,005)	平成29年度 (n=3,030)	平成27年度 (n=2,916)	平成25年度 (n=2,554)	平成23年度 (n=1,629)	平成21年度 (n=3,218)	平成19年度 (n=3,006)	平成17年度 (n=2,010)
1	居住環境・生活環境の整備されたまち 43.7	居住環境・生活環境の整備されたまち 42.4	居住環境・生活環境の整備されたまち 39.6	居住環境・生活環境の整備されたまち 39.3	都市と自然が共存しているまち 39.0	自然環境の豊かな都市 56.3	自然環境の豊かな都市 61.3	自然環境の豊かな都市 75.3
2	防犯・防災対策が充実したまち 37.6	交通の利便性の高いまち 36.7	交通の利便性の高いまち 36.5	交通の利便性の高いまち 33.6	居住環境・生活環境の整備されたまち 35.4	居住環境・生活環境の整備されたまち 49.7	居住環境・生活環境の整備されたまち 52.3	保健福祉都市 35.5
3	交通の利便性の高いまち 37.5	防犯・防災対策が充実したまち 34.8	保健福祉・子育て環境が充実したまち 36.4	保健福祉・子育て環境が充実したまち 32.5	交通の利便性の高いまち 34.5	防犯・防災対策が充実したまち 47.3	防犯・防災対策が充実したまち 47.3	心のふれあいのある交流都市 30.4
4	保健福祉・子育て環境が充実したまち 33.0	保健福祉・子育て環境が充実したまち 32.1	都市と自然が共存しているまち 33.0	都市と自然が共存しているまち 31.9	防犯・防災対策が充実したまち 32.5	保健福祉都市 23.2	保健福祉都市 26.4	居住環境・生活環境の整備されたまち 29.9
5	都市と自然が共存しているまち 28.1	都市と自然が共存しているまち 28.8	防犯・防災対策が充実したまち 32.1	防犯・防災対策が充実したまち 30.5	保健福祉・子育て環境が充実したまち 31.4	若者が多い活気のあるまち 20.4	若者が多い活気のあるまち 17.7	若者が多い活気のあるまち 20.8

(注1)「花火大会や温泉のある商業・観光のまち」は、平成27年度調査～平成23年度調査では「花火大会や温泉のある商業・レジャーのまち」としていた。

(注2)「市民の自発的なまちづくりが活発なふれあいのまち」は、平成27年度調査～平成23年度調査では「自治活動の活発なふれあいのまち」としていた。

【属性別】

性別で見ると、女性では「保健福祉・子育て環境が充実したまち」（35.9％）が男性（29.5％）より6.4ポイント、「防犯・防災対策が充実したまち」（39.8％）が男性（35.0％）より4.8ポイント高くなっている。一方、男性では「都市と自然が共存しているまち」（31.6％）が女性（25.4％）より6.2ポイント高くなっている。

年齢別で見ると、「居住環境・生活環境の整備されたまち」は50～59歳（53.4％）が5割半ば近くと高くなっている。「防犯・防災対策が充実したまち」は30～39歳（44.3％）が4割半ばと高くなっている。「交通の利便性が高いまち」は20歳未満（55.3％）が5割半ばと高くなっている。「保健福祉・子育て環境が充実したまち」は30～39歳（41.5％）が4割を超えて高くなっている。「花火大会や温泉のある商業・観光のまち」は20歳未満（28.9％）が3割近くと高くなっている。

表2-2-2 市の将来のイメージ性別、年齢別

(%)

		n	居住環境・生活環境の整備されたまち	防犯・防災対策が充実したまち	交通の利便性が高いまち	保健福祉・子育て環境が充実したまち	都市と自然が共存しているまち	若者が多い活気のあるまち	自然環境の豊かなまち	市民の自発的なまちづくりが活発なふれあいのまち	花火大会や温泉のある商業・観光のまち	インターネット機能をいかしたまち	研究所・大学等のある研究学園都市	無回答
全 体		3,005	43.7	37.6	37.5	33.0	28.1	19.3	15.8	10.8	8.4	8.2	5.5	8.7
性別	男 性	1,303	44.1	35.0	36.1	29.5	31.6	21.4	17.5	11.2	8.1	9.3	7.5	7.8
	女 性	1,659	43.5	39.8	38.8	35.9	25.4	17.7	14.6	10.7	8.7	7.4	4.1	9.0
年齢別	20歳未満	38	23.7	39.5	55.3	21.1	23.7	15.8	13.2	15.8	28.9	7.9	5.3	5.3
	20～29歳	227	41.4	32.6	42.3	39.2	26.0	15.4	12.8	7.5	12.8	10.1	2.6	8.4
	30～39歳	357	38.4	44.3	35.0	41.5	25.2	18.5	13.4	8.1	10.4	7.8	6.2	7.3
	40～49歳	521	44.0	41.7	42.8	35.1	29.4	19.2	12.7	8.4	12.3	8.8	3.8	5.0
	50～59歳	440	53.4	38.2	41.1	30.5	32.0	15.9	16.6	9.8	8.2	11.8	5.2	5.9
	60～69歳	626	48.6	39.8	32.9	32.9	29.1	20.8	18.1	13.7	5.6	7.7	5.8	7.5
	70～79歳	568	40.7	31.0	34.2	28.5	28.2	22.7	17.8	12.7	5.6	6.2	6.0	13.0
	80歳以上	213	32.4	32.4	37.1	26.3	20.7	18.8	18.3	12.2	3.3	5.2	10.8	17.4